

2022 JUA/EAU Academic Exchange Program 参加報告

関野陽平 (広島大)

この度、2022年6月25日から7月5日までの11日間、JUA/EAU Academic Exchange programmeに参加させていただきましたのでご報告させていただきます。今回のプログラムはドイツのLübeckとオランダのRotterdamにある病院を見学した後にAmsterdamで開催されたEAU annual congressに参加するものでした。このプログラムは元々、2020年の3月に予定されていましたが、COVID19の世界的な流行により、延期に延期を重ねて、ようやく参加することができました。私の環境も2年間で変わり、今回は留学先のロサンゼルスから参加しました。また例年であれば、このプログラムは3月にありますが、今回はEAUの延期に伴い7月になりました。今回から韓国でも同様のプログラムが開始され、韓国から2名、日本からは大阪大学の川村正隆先生、台湾から3名、計7名で参加しました。

最初にドイツのLübeckで4日間を過ごしました。University Hospital Schleswig-HolsteinのAxel Merseburger教授は大変ホスピタリティに富んでおり、プログラム開始前より私達と連絡をしっかりと取っていただきスムーズにプログラムを開始することができました。Lübeckは小さな街ですが、世界遺産に認定されており、オレンジ色の屋根を特徴とした歴史的な建造物が多く、非常にきれいでした。川に囲まれた街で、Axel教授がボートトリップに招いてくださり、教授のご家族と一緒にLübeckを一周し、Lübeckの街を満喫しました。ま

た、連日、歓迎会を開いて下さり、Axel教授とスタッフの先生方と一緒にディナーを食べ、ドイツビールの美味しさに感激しながら、交流を深めることができました。

病院見学ではRALP、尿管切石術、PNLを中心として多くの手術を見学しました。ハイレベルな手術手技を学ぶだけでなく、周術期管理やレジデントに対する指導の仕方等についてドイツ、韓国、台湾の泌尿器科ドクターでdiscussionすることができ、非常に勉強になりました。残念なことに予定していた手術がCOVID19により延期される事態があり、日本と同様にCOVID19が依然として影響していることを実感しました。手術だけでなく、スタッフの先生方によるレクチャーもあり、Axel教授からはHSPCの最新の知見を学びました。

6月29日からは場所をRotterdamに移動し、Erasmus Medical Centerでの2日間の研修を開始しました。Erasmus Medical Centerでの研修はJ. L. Boormans准教授と泌尿器科のレジデントが主に担当してくれました。驚いたことにレジデントの多くが女性で、さらに妊娠中のレジデントも多く、女性の社会進出がうまくできている国なんだと感じました。またオランダでは研究レベルの向上を目的に、医師になる前に博士号(Ph.D.)を取得することが一般的であるというのを聞き、非常に驚きました。オランダでは日本に比べ、精管結紮術が多いようで、病院に併設されたラボで、マイクロサージャリーによる精管-精管縫合術を練習する機会がありました。また



写真1 University Hospital Schleswig-Holsteinの前での集合写真

Axel Merseburger教授(中央)、著者(右2番目)、川村正隆先生(右1番目)、韓国、台湾メンバー

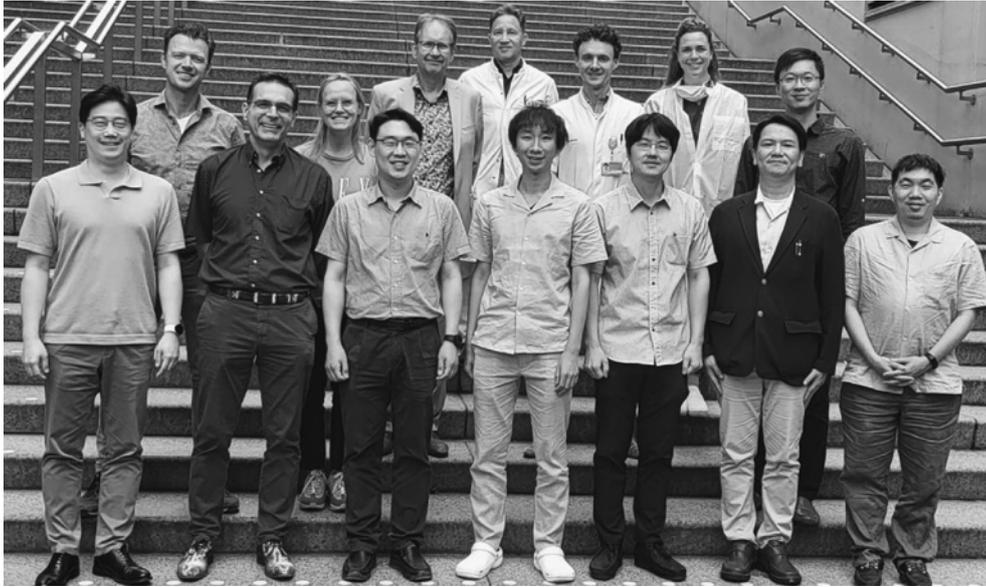


写真2 Erasmus Medical Center の前での集合写真

Chirs Bangma 教授（後列、左3番目）、J.L.Boormans 准教授（後列、右3番目）
著者（前列、右3番目）、川村正隆先生（右4番目）、韓国、台湾メンバー

基礎研究のラボを見学する機会があり、膀胱がん、前立腺がんのオルガノイドを用いた研究、また organ on chip を用いた最先端の研究を見ることができました。私自身もオルガノイドの研究を行っているため、非常に刺激的でした。手術のシステムも日本とは大きく違い、この病院では RALP は行っておらず、RALP は他の病院に集約しているようで、レジデントの先生は RALP を学ぶ際には他の病院に行くとのことでした。その地域の病院、一体となって教育、臨床を行っており、非常に興味深かったです。

Rotterdam の観光では、ヨーロッパ最大のコンテナ取扱量を誇る Rotterdam 港のクルーズツアーをレジデントの先生方と回りました。天気にも恵まれ、きれいな海と街並みを見ながらビールを飲み、最高に気持ち良かったです。また Erasmus Medical Center の Chirs Bangma 教授直々に徒歩で市内の観光案内をしていただき、第二次世界大戦で焼失した後にできた近代的な建物と戦火を免れた歴史的な建造物を観光し、その背景について丁寧に説明していただき Rotterdam の自然と文化を満喫することができました。

場所を Amsterdam に移動し、7月1日から4日まで EAU annual congress に参加しました。COVID19 の影

響でアジアからの参加者は例年に比べ少なかったように感じました。このプログラムでは ESU course や hands on seminar にも無料で参加することができ、私は RALP, RAPN の ESU course に参加しました。session 中に吻合の方法や、周術期管理といった discussion が交わされ、非常に勉強になりました。7月3日の夜には friendship dinner に参加し、世界的に著名な先生方の前で壇上に呼ばれ、黄金の重厚な盾をいただき、最高の瞬間を味わうことができました。

このプログラムでは韓国、台湾のメンバーと病院見学や EAU annual congress を通して、いろいろな意見を交わし、親睦を深めることができました。今後、KUA, TUA, JUA の学会で是非、再会しようと約束をしました。過去の参加者も同様に述べておられますが、同年代のアジア泌尿器科のメンバーと仲良くなれたことは一生の財産になったと思います。このプログラムを通して得られた貴重な経験を糧に臨床、研究に精進してまいります。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えていただきました JUA, EAU の関係者の方々、また私達を快く受け入れていただいた病院関係者に心より感謝申し上げます。